

環境活動に関わる情報を、広く社会と共有するために、 多彩なメディアを駆使した双方向のコミュニケーション。

富士通グループでは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動のあらゆる領域で環境活動を推進しています。こうした環境活動に関する情報を幅広く知っていただくために、環境経営報告書やインターネットによる情報開示、新聞広告やTVCMの展開、展示会への出展などを積極的に行っています。また、幅広くご意見・ご指摘をいただくために担当窓口を設け、社会とのコミュニケーションをはかっています。

環境報告書の発行

2001年度の環境保全活動実績およびその成果を中心に取りまとめた「2002富士通グループ環境報告書」を発行しました。環境保全に関する情報を積極的に社会へ開示し、企業としての事業活動の透明性を高めるため、グループとしての活動をご紹介・報告したものです。「環境報告書」は、1995年以降、毎年継続的に発行しています。

「2002富士通グループ環境報告書」のポイント

1. 持続可能な発展に向けて環境に取り組む「富士通グループ環境方針」を明らかにしました。
2. 第3期行動計画を策定し、その内容について記載しました。
3. 「グリーンライフ21 すべてをグリーンに」をコンセプトとした各事業領域での環境活動をご紹介しました。
4. 事業活動における環境への影響をはっきり認識

し、環境負荷を低減するため施策、環境負荷の実数をご紹介しました。

富士通グループでは、今後も環境報告書を毎年発行していくとともに、インターネットなどを通じて積極的に情報開示をしていきます。

関係会社：富士通アクセス、富士通サポートアンドサービス、富士通ヴィエルエスアイ、PFU、新光電気工業、富士通テン、FDK
富士通：熊谷工場、那須工場

富士通グループおよび関係会社・事業所の環境報告書



環境パンフレット「すべてをグリーンに」を発行

富士通グループの環境への取り組みをわかりやすく解説した環境パンフレット「すべてをグリーンに」を発行しました。消費者の皆さまをはじめとする幅広い方々に環境への取り組みをご理解いただくため、環境活動コンセプト「グリーンライフ21」に基づき、写真・図を多用してわかりやすく解説したものです。日々の営業活動を通じてのお客さまへの配布、ユーザ会からの会員企業さまへの配布などとともに、富士通グループの工場・事業所においてもご希望に応じてお渡します。また、一般のお客さまか

らの電話などによるお申し込みも、受け付けています。



環境パンフレット
「すべてをグリーンに」
(A4カラー、14ページ)

環境広告

私たちの環境活動を広く知っていただくために、環境広告を新聞・雑誌やホームページに掲載。また、環境TVCMもオンエアし

ています。環境をみつめた日々の活動や、環境を守るために生まれた新しい技術などを、身近な視点で誰にでもわかりやすく伝

えたい・・・そんな思いから生まれた数々の広告は、高い評価をいただいています。



環境展示会への出展

展示会は、当社の環境への取り組み、環境ソリューション・商品の提供能力をお客さまにわかりやすい形でご紹介する絶好の場です。2002年度も、各地で開催された

展示会へ積極的に参加し、環境コミュニケーションをはかるとともに環境ビジネスを推進しています。その一部をご紹介します。(2002年度 計40件)

名称	主催
環境ソリューションフォーラム	富士通環境本部
信州環境フェア2002	信州環境フェア実行委員会
CEATEC JAPAN	情報通信ネットワーク産業協会、(社)電子情報技術産業協会、(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
CEPSI 2002 FUKUOKA (第14回 東アジア西太平洋電力協会大会)	東アジア西太平洋電力協会、九州電力(株)、CEPSI福岡大会実行委員会
ウェステック2002	ウェステック実行委員会
地球と私のためのエコスタイルフェア エコプロダクツ2002	(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
びわ湖水フェア	第3回世界水フォーラム、滋賀県委員会、大津市21世紀記念事業実行委員会
こどもエコクラブ全国フェスティバル佐世保	環境省、長崎県、佐世保市、(財)日本環境協会

ミニ環境手帳

ビジネスシーンにおいて、お客さまと環境問題などについてお話しする機会に活用するため、営業部門向けに小冊子「環境 Pocket Book」を作成しました。営業部門内での環境問題に関わる勉強会などにも活用されています。



ご意見・ご質問への対応

電話、電子メール、FAXなどとおして、環境に関するアンケートやさまざまなご意見・ご質問をいただきました。その一部をご紹介します。

Q 生分解性プラスチックは自然界の中で分解するため、不燃物として処理せず、土に埋めればよいこととなります。消費者が生分解性プラスチックでできた製品を簡単に分解、処理できるよう説明書を入れれば、不燃物は減るのではないのでしょうか？

A 当社では生分解性プラスチックをリサイクルできる素材として考えていますので、消費者の皆様による処理ではなく、積極的に回収を進めていきます。生分解性プラスチックは、もし誤って投棄されてしまった場合でも、水とCO₂に分解されるので環境負荷は小さくなります。

Q 環境保全の大切さを次世代の子供たちにも説明できる、わかりやすい冊子があると嬉しいのだが...

A 環境報告書以外に、よりわかりやすい表現を行った環境パンフレット「すべてをグリーンに」を作成いたしました。ご要望がありましたら、ご送付いたします。

Q 工場の裏門あたりから異様な音がする。機械の故障であれば、修理後に連絡をいただきたい。

A 調査の結果、食堂の残飯処理機の作業終了後運転停止をしなかったことによる装置の空回りの音と判明しました。ただちに運転を停止し、ご報告してご了承いただいています。